

第3回東京イミグレーション・フォーラム 菊池長官御挨拶

- 皆様、出入国在留管理庁長官の菊池浩です。第3回東京イミグレーション・フォーラムに参加いただいた全ての皆様に心より歓迎いたします。
- 今回、ここ東京において、多くの国・地域における入管当局及び国際機関の皆様にお集まりいただき、直接お会いできたことを、大変嬉しく思います。
- 先ほど小泉法務大臣が発言されたような激動の世界情勢の中で、我々入管当局が抱える共通の課題に迅速かつ的確に対応していくためには、相互に緊密に連携していくことが不可欠です。
- もとより、相互理解や価値観の共有は一朝一夕にできるものではなく、それぞれの国・地域の制度、社会状況、文化、歴史等を尊重しながら、継続的に対話を行うことが不可欠だと考えています。毎年開催している本フォーラムは、そのような継続的な対話の場を提供し、次世代も見据えた連携構築に資するものでありたいと考えています。
- 本フォーラムの概要を、簡単に御紹介させていただ

きます。

まず、本で行われる基調講演では、本年10月1日に新しく就任されたエイミー・ポープ IOM 新事務局長よりビデオメッセージをいただきます。

次に、本日の全体会合は、普遍的な価値である人権をテーマに、パネルディスカッション方式で実施します。パネリスト同士での議論の後、参加者全員で議論をすることになりますので、積極的な発言をお願いします。

明日は4つの分科会が行われます。世界各地で深刻化、長期化する人道危機により、故郷を追われた人の数が1億1千万人を超えているという厳しい状況にあることを踏まえ、分科会において初めて難民に関する議題を設定し、UNHCR に出席していただくことになりました。UNHCR には同分科会の司会も務めていただくとともに、明日の講演にも御協力いただき感謝します。

3日目の金曜日には、午前中に東京出入国在留管理局の審査窓口や収容施設の見学ツアーを用意しております。

- 最後に、今回のフォーラムが、皆様にとって有意義かつ実り多いものとなることを祈念して、私の挨拶といたします。

- ありがとうございました。